

尾張ゆかりの古能

〈復曲初演〉あわでのもり

不逢森

阿波手の森

あわでの森 不遇森

名古屋公演

逢いたい!

亡き人の面影を見る香煙の陰



仕舞

小鍛冶クセ

楊貴妃

花筐クセ

狂言

千鳥酒屋

主 野村又三郎

太郎冠者 松田高義

復曲能

不逢森

娘 加藤真悟

僧 古室知也

商人 安田登

宿主 奥津健太郎

観世 喜正

久田 勘鷗

梅若万三郎

令和4年

11月12日(土)

午後2時開演

(午後1時15分開場)

名古屋能楽堂

主催：一般社団法人 復曲能を観る会

加藤真悟・長谷川晴彦・古室知也・奥津健太郎

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

復曲能『不逢森』

名古屋公演

令和四年十一月十二日(土)

午後二時開演
名古屋能楽堂

ご挨拶

加藤 眞悟

お話し

萱津神社宮司 青木 知治

仕舞

小鍛冶 久世 喜正

観世 喜正

梅若 志長

楊貴妃

久田 勘鷗

地謡

梅若 泰志

花 筐 梅若万三郎

梅若万三郎

梅若 久紀

狂言

千鳥

酒屋 野村又三郎

主 松田 高義

太郎冠者 奥津健一郎

後見 藤波 徹

解説

休憩二十分

『不逢森』の復曲について

法政大学教授

伊海 孝充

復曲能

僧 古室 知也

娘 加藤 眞悟

不逢森

商人 安田 登

大鼓 大倉正之助

小鼓 久田舜一郎

宿主 奥津健太郎

笛 槻宅 聡

梅若 泰志

後見 梅若 紀長

久田三津子

梅若 志長

梅若 紀佳

観世 喜正

久田 勘鷗

終演予定 午後四時五十分

小鍛冶 久世 喜正

一条院から御剣を打つよう勅命を受けた三条の小鍛冶宗近。有能な相籠が現れるよう稲荷明神に祈願に向かう途中で会った童子(シテ)は、剣の威徳を語り、汝がこれから打つ御剣も必ず霊剣となるだろうと告げる。今回は萱津神社の縁起に因み、日本武尊が敵に囲まれ草に火を放たれた折に、剣を抜いて草を薙ぎ払うと剣の精霊が嵐を起し数万騎の敵を焼き払い世が治まった『草薙の剣』の話を舞うクセ部分を上演します。

楊貴妃

唐の時代、玄宗皇帝と愛妃・楊貴妃のラブロマンスを描いた『長恨歌』を題材とした曲。死後の楊貴妃は仙女となり、玄宗の使いで尋ねてきた方士と面会すると、皇帝への思いを舞を以て語ります。中世日本の言い伝えには、仙女・楊貴妃が住んでいた蓬萊宮は熱田神宮であり、楊貴妃は熱田の女神であるというものが残っています。雄大な大陸の物語へ想いを重ねた中世の人々のロマンを感じる一曲です。

花 筐 梅若万三郎

越前で、即位のため上京する大迹部皇子から別れの文と形見の花筐を届けられた照日ノ前は、物狂となり都へ上ると即位した継体天皇の行列に出会います。かつて李夫人を失った漢の武帝が甘泉殿の壁に姿を描かせ、李夫人の魂を呼び寄せようと反魂香を焚き面影を偲んだ故事を語った照日ノ前は、恋慕の情を訴えるのでした。仕舞では武帝と李夫人の故事の場面を舞います。

千鳥

太郎冠者はある日、酒好きな主人に命じられ、酒屋に酒を取りに行きます。ツケの支払いも滞っていて、気が進まない太郎冠者でしたが、酒屋が酒を渡さないで隙を見て手に入れようと悪戦苦闘。話好きな酒屋の機嫌を取って、尾張の津島祭や伊勢の浜千鳥の様子などを話すが、通常は太郎冠者がシテ(主役)ですが、今回は酒屋をシテとする演出でご覧いただけます。策を講ずる太郎冠者を酒屋がどう扱うかが見どころ。中世の香り溢れる狂言の名曲をお楽しみください。

不逢森

鎌倉・亀江谷の商人(父)は昨年春から京の都に上り、今年秋になっても戻りません。娘は父に逢いたさに都への旅に出ますが、長旅の間に体調を崩し、尾張国萱津宿で命を落とします。奇しくもその日、商人は同じ萱津宿に泊まり、亡くなったのは娘であることを知ります。嘆き悲しむ商人は萱津の森の僧とともに娘を弔い、死者の霊を招き返すという反魂香を焚きます。煙の中に娘の姿を見た商人は袖にすがろうとしますが、煙が消えるとともに再び娘の姿は消えてしまっていました。謡物の最高峰として伝わる乱曲『反魂香』は、今回復曲初演する『不逢森』の一節です。

『不逢森』事前講座を企画しています!

名古屋公演をより楽しんでもらいたくための事前講座を開催予定です。最新情報は公式サイトにて(下の二次元コードからもどうぞ)

<https://hukkyokunouwomirukai.amebaownd.com>



〈復曲能を観る会〉とは

「能と狂言の力で人と人を繋ぎたい」「復曲は埋もれた文化遺産の発掘」

このふたつの言葉を柱に、現在は演じられない室町時代の演目の復曲(再興)を通じて古人が大切にしてきた文化を再認識し、生きている伝統芸能を未来に繋げたい、と願う能楽師の加藤眞悟、長谷川晴彦、古室知也、奥津健太郎が集い、昨年5月に任意団体を設立しました。本年3月には一般社団法人となり、継続的・発展的に活動する地盤が固まりました。コロナ禍からの文化芸術活動の再興を支える文化庁ARTS for the future!2の採択も昨年引き続いて決定し、10月9日の東京公演『和田酒盛』と11月12日の名古屋公演『不逢森』は補助対象事業となりました。AFF2採択により、充実した公演内容でチケットもお求めやすくなっております。ワークショップや講座なども開催いたします。ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

【席料】(全席指定)

- 正面S席 5,000円
- 正面・脇正面A席 4,000円
- 中正面・脇正面B席 3,000円

<学生(28歳まで)/障害者 割引あり>
各料金より2,000円引 復曲能を観る会でのみ受付
介助者は応相談。当日は身分証をご提示ください。

※出演者および内容等の変更の場合は何卒ご了承ください。
※ご来場の際は新型コロナウイルス対策にご協力をお願いいたします。

名古屋能楽堂座席表



【チケット取扱】

- 復曲能を観る会 045-481-8704 (加藤) fukkyoku.noh@gmail.com
※公式サイトにもお申込フォームがございます。
- 名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088
- 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387
- カンフェティ ☎0120-240-540
通話料無料有人対応(平日10:00~18:00)
- イープラス <https://eplus.jp>



カンフェティ



イープラス